

【金賞】

『だいすきなおてつだい』

宮崎市立生目台西小学校 1年 阿部 優里

わたしは、おかあさんのおてつだいをすることがだいすきです。そのなかでもいちばんすきなおてつだいが、おこめときです。

おかあさんのまねをして、わたしもえぷろんをつけます。だいどころがたかいので、くまものいすにのぼって、じゅんびがなりようです。

まず、おかあさんにおこめをはかってもらい、そのあとからがいよいよわたしのではんどす。

はじめはすこしずつおみずをだして、おこめをぐるぐるとあらいます。とうめいなおみずは、あつというまにまつしろになるので、つきはあたらしいおみずにいれかえないといけません。

「おこめ、ながれないようにね。」と、おかあさんになんともいわれ、おそるおそるおみずをながし、あたらしいおみずをいれながら、またぐるぐるとおこめをあらいます。まつしろになつたらおみずをながし、こんどはそのままぎゅっ、ぎゅっとおこめをおすようにといでいきます。ちからいっぱいとぐとおこめがわれてしまうので、やさしく、てばやくとぐことがだいじだと、おかあさんにおしえてもらいました。

なんどもおみずをいれかえ、おこめとき、おみずがしろくなくなつたらおしまいです。おみずのりようをはかってもらって、すいはんきにせつとして、わたしのおてつだいがようやくおわりました。

わたしのは、おかあさんのもちいさいです。だから、おこめをとぐのもたいへんです。おみずのいれかえのとき、てのすきまからおこめがながれてしまいます。いまはじょうずにおこめときができないけど、いつかおかあさんのように、さきとおこめをとけるようになりたいです。